

(1) 第22714号

(1面)

防災シンポ 厚真町長が講演

災害対応力の強化を



1日、札幌市で開かれた第2回防災技術イノベーション研究会の防災シンポジウム(主

胆振東部地震から得た教訓を語った宮坂厚真町長

催・北大ロバスト農林水産工
学国際連携研究教育拠点で
講演し、胆振東部地震の経験
を踏まえて日頃から災害に対
するレジリエンス(対応力)
を磨く必要性を訴えた。シン
ポジウムには研究者や市民ら
約90人が参加し、被災した自

治体トップの説明に耳を傾け
た。

宮坂町長は町内の公共土木
施設や農林業などの被害見積
額が約1700億円、土砂災
害は3220軒に及ぶと説
明。国や道の支援を受け、土
砂撤去などの復旧工事が順調
に進んでいると報告した。

また、復旧復興に向けて延
べ3万人の人的支援を受けた
ことを強調。「当町の人口は
5000人弱。約100人の
町職員だけでは復旧復興業務
ができず、多くの機関に全方

でサポートしていただいた」と感謝の言葉を述べた。

地震発生直後を振り返り、
全国から派遣職員が集まった
ことで立ったままパソコン
作業をしたり、階段で寝泊ま
りしたりすることもあったと
し、「応援を受け入れる体制
の整備や訓練が必要」とした
他、被災者の精神的健康に対
するケアと、復旧復興に向
けた強靱(きょうじん)な心
の二つを挙げて、「これが
ないと業務継続計画(BC
P)を運用できない」と訴え
た。

シンポジウムでは、北大工
学研究院の教授らが学術的な
視点で震災被害のメカニズム
などを解説した。